

## 第22回福岡地域審議会会議録

と き：平成25年2月20日(水) 午後1時30分から午後3時15分

ところ：福岡庁舎4階 401会議室

出席者

### ○高岡市

高橋市長、高田副市長、岡田経営企画部長、澤谷総務部長、黒木経営企画部次長・都市経営課長、掛川原道路建設課長、高越土木維持課長、水上産業振興部次長・産業企画課長、広羽農業水産課長、宮崎児童育成課長、山谷児童育成課主幹、大門農地林務課副主幹、古瀬教育委員会総務課長、中野教育委員会総務課総括専門員、関教育委員会体育保健課長、西本教育委員会体育保健課主幹、徳田福岡総合行政センター所長、山本福岡総合行政センター次長、谷内経済振興課長、橘市民生活課長、山崎福岡まちづくり推進室長、窪田福岡教育行政センター所長、野積地域振興課長、川尻地域振興課課長補佐、橘地域振興課主幹、村上財政課副主幹

### ○ 委員（50音順）

大庭敦子委員、大道哲郎委員、木村英二委員、参納幸雄委員、地崎武治委員、朝静子委員、徳田新一委員、中山里美委員、平野栄一委員、中山智章委員、源保夫委員、山崎美恵子委員、山田儀作委員

### ○ 欠席者（50音順）

茂古沼江里委員、武田庄保委員

## 1 開 会

午後1時30分

### 【事務局】

本日は、お忙しい中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、第22回福岡地域審議会を開催いたします。

本日の市の出席者を紹介します

(市出席者の紹介)

## 2 会長挨拶

### 【事務局】

それでは、山田会長からごあいさつをお願いいたします。

### 【会長】

本日は、高橋市長様をはじめ、市当局の皆様そして審議委員の皆様には、公私ともに大変お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

さて12月には国政におかれましては、政権交代がありました。新しい政権では、円高・デフレの脱却ということで、アベノミクスを掲げまして2カ月がたちました。その中で円安が進み株価が上昇しております。そしてこのあと、15カ月予算が執行されれば、必ずや経済が上向くものと思っております。前政権が掲げておりましたコンクリートから人へという政策の中で公共事業が大幅に削減されました。全国の中小企業の建設業者のみなさんが倒産や廃業を余儀なくされました。その影響がこの福岡町地域にでております。と言いますのも3月に予定されておりました福岡小学校の卒業式が新体育館での予定でしたが、それが3月末で完成しないということになりました。このような報道がされてきました。これに関しましても子供たちを裏切ったと思います。非常に残念でなりません。この件に関しましては、のちほど、ご報告がございますので、よろしくお願ひしたいと思います。これに関連し心配しておりますのは、グラウンドの整備が遅れるのではないかと思っております。影響のないようにお願ひいたします。そんな中、うれしいニュースもあります。福岡つくりもんまつりが、全国地方新聞の共同通信社が主催する地域再生大賞の優良賞を受賞されました。300ゆう余年続くつくりもんまつり、伝統ある文化を後世に残していただきたいと思ひます。もう一つは大滝工業団地に、静岡から工場が進出するというごさいます。企業の皆さんは工場を集約するとか、災害リスクを懸念して、地方へ分散される方がいます。今回の企業はリスク分散型の企業だと思ひています。現在1社だけですが、これからももっと工場誘致に努力をお願ひしたいと思います。高岡西部総合運動公園につきましては、3月10日に安全祈願祭が行われます。本格的な工事が始まるものと思ひしております。安全に留意されて、工期までに終了されることを祈っております。もう一つは、福岡駅前土地区画整理事業ですが、昨年暮れに旧福岡消防署も更地になりました。一部では、駐車場の整備が終わりましたし、部分的には道路も整備されております。合併特例債が延長されたといわれましても進行速度が遅いと思われます。目玉の一つであります駅前交流センターが着工されてないということ、これも大きな原因だと思ひしております。ぜひ早く着工されることをお願ひしたいと思います。最後になりますが、今日の議題は報告事項5件その他1件となっておりますが、中には審議事項に該当するような案件もあります。ぜひ皆さんの忌憚のないご意見をお願ひいたしましてよろしくお願ひいたします。

### 3 市長あいさつ

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、高橋市長からごあいさつを申し上げます。

【市長】

今日は22回目になりますが、平成25年に入りましてはじめての地域審議会でございます。皆さんにはお集まりいただきありがとうございます。山田会長さんのご挨拶にもありましたように、前回の審議会以来、日本も大きな変化を迎えております。昨年末には衆議院議員総選挙が執行されまして、その結果政権を担う政党が政権交代いたしました。早速当面の課題であります経済再生ということで、経済対策も打ち出され国会では審議中でございますが、大型の補正予算が編成されてございます。いわゆる15カ月予算ということで、来年度の新年度予算と合わせて切れ目のない経済運営を行うということでございます。公共事業を中心とした中での補正でございます。私どもも昨日、来年度当初の予算案を発表させていただきました。その中でも15カ月予算、国の補正予算を念頭に置きながら目いっぱい予算を組ませていただきました。丁度私どもは2年後に迫りました新幹線をひとつの節目といたしまして、これに合わせて様々な事業、交通体系、はもちろんのことですが、新幹線の新駅あるいは高岡の現駅そしてこれらをつなぐ交通体系、また、これに関連いたしまして、福岡との関係では、合併以来すすめてまいりました事業がそれぞれ目途がつかますようにビックプロジェクトに目白押しで取り組んでいくということでありまして、今回の補正予算でいろいろと各方面にもお願いいたしまして、何とか予定しておりました平成26年度までに完成すべき事業につきまして事業的なめどをつけさせていただきましたものと思っております。新幹線関連で申しますと、平成25年度末には現駅の整備がステーションビルあるいは、駅前のターミナルそして地下街のリニューアルと言ったところは平成25年度中には完成する予定でございます。新幹線の駅も少し姿が見えてまいりましたが、周辺の駐車場の整備あるいは、新幹線駅への主要なアクセス道路の整備といったようなことが、平成26年度新幹線の開業目指して、進んでいくものと思っております。合わせまして2年後に迫りました新幹線の開業に向けて、高岡のビルトということに心がけていきたいということで、高岡からの情報発信、たかおかのイメージ戦略、シティーセールスこう言ったことにも力を入れていきたいと思っております。合わせて、新幹線でおとずれてくることになる、たくさんの方々をお迎える市民のおもてなしの心、市民挙げての取り組みについてもお願いをしてみたいと思っております。一方で新幹線が2年後ですので、2年後までに行っておくべきことと、それから新幹線が開通いたしました後に改めて高岡のまちづくりをどう考えるか、そして、さらに高岡の顔というものを作り上げていく必要がある

だろうと、あるいは当面新幹線開業を目指して現駅を見通した交通のアクセスというものを考えておりますが、さらに新駅、現駅周辺の町中の中心的な拠点商店街やあるいは、歴史的な町づくりのところをつなぐような交通の総合的な戦略を立てていく必要があるだろうと思います。もちろん新幹線開業後に在来線が第3セクターに移行されますので、並行在来線の利便性の向上についても十分念頭において総合的な交通戦略を取り組んでいきたいなと思います。そういう中で、福岡は合併後8年を迎えることとなりました。新市の一体化ということについても、福岡の地区の方々にも何とかご理解をいただきながら、一体化の醸成といったことにも掲げてまいったところでございます。また、新市建設計画やその後の高岡市の総合計画に織り込まれた合併時点で計画しておりました事業についてもそれぞれ着手スタートしております。いろいろ進行状況についてご説明させていただきながら、ご了解いただきたいと思いますが、着実に計画の進行推進といったものを進めてまいりたいと思います。この間の地域審議会の皆様方のご熱心なご指導ご協力ご理解に改めて感謝を申し上げたいと思います。本日は22回目ということでございますが合併時に計画されておりました事業についての進捗状況などについてご説明させていただくこととなります。先ほど会長からお話がありましたように、いくつか、ご心配いただいている点もございますが、そのあたりの事情についてもご説明申し上げながら忌憚のないご意見をいただき、今後の推進に遺憾の内容に努めてまいりたいと思います。短い時間ではございますけれど、有意義な時間となりますようご協力をお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。今日はありがとうございました。

#### 4 議事

##### 【事務局】

ありがとうございました。ただいまから議事に入らせていただきますが、本日は、茂古沼委員、武田委員から事前に欠席の連絡をいただいております。

本日の会議は、委員定数15名のうち13名の出席をいただいておりますので、地域審議会設置規定第8条第4項に規定する過半数を超えていますので本日の会議は成立していることをご報告いたします。

設置規定第8条第3項の規定によりまして、議長は会長が務めることとなっておりますので、山田会長よろしく申し上げます。

## (1) 報告事項

【議長】

それでは、規定によりまして議長を務めさせていただきます。今回の会議は、①報告事項5件、②その他1件となっております。

【議長】

それでは、「報告第62号 福岡小学校改築事業」について、説明をお願いします。

【古瀬教育委員会総務課長】

それでは、「報告第62号 福岡小学校改築事業」について、お手元の資料1に従いまして説明をいたします。お手元の資料1をご覧ください。

(教育委員会総務課から説明)

【議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

ご発言は、議長の指名のもとお願いします。なお、お近くのマイクを利用してよろしくをお願いします。

【山崎委員】

資料の図面を見ていると小学校の校舎や体育館の工事が少しずつ姿を見せていますが、このあとのグラウンドの整備を考えますと、大まかに形ができてきたと思われます。小学校グラウンドの左端、福岡体育館の取り壊しもあるようですが、学校としての防犯上の仕切りとかあると思いますが、ここの境はどのようになりますか。小学校の敷地とはいえ、周りの環境とか、考えていかなければならないと思います。相撲場のことも含めて、周りの環境がどうなるのかご説明をお願いします。

【中野教育委員会総務課統括専門員】

福岡体育館と小学校グラウンドの境ですが、約7メートルの防球ネットでグラウンドを囲みます。そしてすぐ横にバスレーンを設置いたします。そこには歩道をつけバス停も建てる計画にしております。相撲場につきましては、移転移設と伺っています。その配置については、児童館敷地も含めて検討されます。

【木村委員】

小学校の体育館の建築については、工期が遅れていますが、このあと順調に小学校グラウンドの工事まで行くと思いますが、その隣接している市営福岡グラウンドについて質問したいと思います。

【議長】

今の議題は福岡小学校の議題なので、福岡グラウンドについては、その他でお願いします。

他にありませんか。

【大道委員】

地域に周知するためなのか、住民説明会の前に、工期が遅れるという新聞報道されましたが、順番が違うのではないかと思います、見解を聞かせてください。

【古瀬教育委員会総務課長】

説明会は関係者等の日程調整等で遅れまして、新聞報道のほうが先行してしまったわけですが、新聞社が独自取材されたもので、こちらから情報提供したものではないということをご理解いただきたいと思います。

【大道委員】

体育館で卒業式ができないということで、Uホールということですが、細かいことですが、当日の児童や父兄の流れをご説明願いたいです。

【古瀬教育委員会総務課長】

会場のUホールにつきましては、アリーナの正面に仮設のステージを設置いたしまして、パイプいす、紅白の幕を設置しまして、床はビニール養生するということで学校関係者と協議を進めているところです。保護者の方も同じフロアで式に参加していただく計

画で進めております。卒業式当日の卒業生あるいは保護者の方々の移動につきましては、公営バス等を準備いたしまして、移動を円滑に進める体制を整えまして、児童保護者の負担が少しでも軽くなるように準備を進めております。

【中山里委員】

小学校グラウンドの整備の関係で、バス停はどのあたりに設置されて、どんな安全対策がとられるのか、教えてください。

【中野教育委員会総務課統括専門員】

バスレーンに関しましては、福岡体育館を解体したのち、位置的には、少し西にずれますが、今と同じような形で計画しております。

【議長】

特にないようでしたら、次へ進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【議長】

次に、「報告第63号 高岡西部総合公園（総合グラウンド）整備事業」について、説明をお願いします。

【関教育委員会体育保健課長】

それでは、「報告第63号 高岡西部総合公園（総合グラウンド）整備事業」につきまして、お手元の資料2に従いまして説明をいたします。お手元の資料2をご覧ください。

（教育委員会体育保健課から説明）

【議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【議長】

特にならなければ、次へ進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【議長】

次に、「報告第64号 福岡さくら会館耐震補強と利活用」について、説明をお願いいたします。

【谷内経済振興課長】

それでは、「報告第64号 福岡さくら会館の耐震補強と利活用」につきまして、お手元の資料3に従いまして説明をいたします。お手元の資料3をご覧ください。

(経済振興課から説明)

【議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【大庭委員】

児童館を利用する児童の中には、小学2年生のような低学年がいますが、3階の部屋に行くまで、階段を上りおりする危険性があるのではないかとということと、低学年の子供だけで施設内にあるエレベーターを利用させるのことも危険でないかということが心配です。また、さくら会館の工事の期間には、つくりもんまつりの期間も含まれると思いますが、昨年までは2階は「よさこい」の出演者の控室、3階は「きらっと福岡ネット」の雨天の場合のチャレンジコーナーとして利用していたが、改装工事の間は、そういった場所はどちらに移動するのでしょうか。

【谷内経済振興課長】

現在のさくら会館の3階のスペースを使って児童館並びに放課後児童育成クラブの子供たちが活動することとなります。詳細は関係する課と協議していますが、3階の会場までは、基本的に、現在の施設に備わっている、非常階段を利用してもらう考え方にしています。また、子供たちが階段を利用する際にすべらないように、滑り止めを設置し、安全に利用できるように手すり等の設置、落下防止策を施して安全を確保したいと思っています。エレベーターの活用については、基本的にはエレベーターを使用しない



方向で協議を進めています。エレベーター前の防護柵、防火扉前の安全確保等を実施設計の中で検討しております。また外からの入管については、下足箱や雨具等をかけたりするスペースも設ける予定であります。

つくりもんまつりの影響ですが、工事期間中は2階、3階は活用できない予定です。これは、工期は7月から翌年の2月までを予定しており、工事期間中は安全を第一に進めたいという思いからであります。したがって地域女性ネットの皆さんの活動場所については、仮設のテントを設置する方向で、つくりもんまつり実行委員会と協議をしてみたいと思います。出演者につきましては、Uホールなどの別の施設で着替えをしていただくことになると思います。

#### 【山崎委員】

さくら会館のトイレのことを伺います。福岡体育館の取り壊しによりまして、体育館に付随しておりました、トイレがなくなるようですが、さくら会館のトイレの利用につきまして、今まで福岡グラウンドの利用者がさくら会館のトイレを利用するなどしていましたが、こちらに機能を持たせるということはできますか。林照寺側にもトイレが一つありますが、誰が利用するのか。管理等を考えますと、あちこちにトイレがあることはどうかと思います。さくら会館にこれらのトイレを数も合わせて統合することを考えてはどうでしょうか。

#### 【経済振興課長】

さくら会館の現状のトイレについて説明いたします。1階から3階まで男女別のトイレがあります。基本的にはトイレを増やすとかは改装するとか考えておりません。ただし福岡体育館の使用ができなくなることから、さくら会館の施設のトイレの利用率が高くなることが想定されます。したがって、気持ちよくトイレを使っただけを考えてみますと、職員によるトイレの清掃をこまめに行うことを考えております。また、外から中に入った時に段差がございますので、スロープにすることも考えたいと思います。林照寺横の多目的広場のトイレについては通年通して利用しているので、従来通り使用していただきたいと思っております。

#### 【山崎委員】

それぞれの施設で一つ一つトイレが整備されているようですが、エリアが文教ゾーン一体ということで、整理するという考え方で進めたいと思います。

【徳田委員】

さくら会館の3階のホールを同窓会で使わせていただいたとか、2階の会議室を防犯団体に利用させてもらっていたが、今後手狭になるということですが、工事が終わった後は、今まで通りお借りすることはできなくなるのでしょうか。

【谷内経済振興課長】

工事が完工したのちのことについては、2階部分は会議室としての機能は従来通り確保するという考え方になっております。したがって、会議室として利用できます。ただし、3階部分については、児童館機能、学童保育機能があり、毎日のように活動されますので、大きなセレモニー的な会議についてはできなくなります。その点については、Uホールイベントホールや将来的にできる予定の福岡駅前交流センターの大きなスペースを活用していただくというようなことになると考えています。さくら会館の3階における従来の活用はできなくなります。

【平野委員】

3月の補正で97,000千円と工期では7月ごろからの着工だという話ですが、これを完成しないと児童館の移設というのは、無理なんでしょう。そうしますと、小学校グラウンドの工事のほうが9月ごろからの着工、児童館の移設解体など、そこらあたりに競合しないのか心配です。グラウンドの工事が遅れるのでないか。

【谷内経済振興課長】

25年度は現在の児童館は運営いたします。さくら会館の内部改装が終了したのちに児童館の子供たちが、さくら会館を利用するという考え方になっております。

【平野委員】

それは理解しています。ただ小学校グラウンド工事が完成いたしますと乗用車の乗り入れができないということになります。手前の樹木はそのまま残すのか、ということは、児童館に行き来できないのではないかと心配しています。グラウンド整備をする前に奥のものをかたづけられないのではないかと考えています。

【徳田総合行政センター所長】

小学校グラウンドの整備を第一に考えています。文教ゾーンの中で、取り急ぎ、小学校の校舎体育館、そして来年度小学校グラウンドに着手するわけでございますが、そのあと福岡グラウンドを整備する予定です。その際に合わせまして、福岡の現児童館を解体する計画にしております。今の小学校グラウンドと合わせてするわけではないので、まずは小学校グラウンドを先行させこの後、福岡グラウンドを整備しますので、その時に合わせて児童館を解体する予定にしております。

【平野委員】

先ほど議長は小学校改築工事のところでは福岡グラウンドについては後にしましょうということでしたが、私がなぜここにこだわるかということ、これ以上子供たちに負担をかけたくないからです。学校関係者の方も工事の関係から駐車場問題で大変悩んでおられると聞いております。文教ゾーン整備事業の中で一体的にこういうことを考えていかなければならないと思います。駐車場整備は文教ゾーン整備事業の根幹の問題だと思います。それを考えていかなければ将来に禍根を残すのではないかと心配です。全体の中で駐車場問題を考えていただきたいと思っています。

【議長】

駐車場問題ということですが、小学校体育館が完成すれば町民体育館は解体するということですが、その時期はいつごろですか。

【山崎まちづくり推進室長】

文教ゾーンにあります福岡体育館につきましては、市年度早々になるべく早く解体したいと思います。5月中旬に福岡小学校が福岡体育館をお使いになりたいというご意向を伺っておりますので、それが終わり次第ただちに解体したいと思っております。そのあと福岡小学校のグラウンド整備、子供たちの安全を確保するための仮設対策をしながら公営バスレーンをつくってきたいと思っております。同時にさくら会館を改修いたしまして、今年度中には児童館の子供たちをさくら会館に入れさせたいと思っております。そのあと福岡グラウンドの整備に入っていくという大まかなスケジュールを考えております。

【平野委員】

当初の図面では、旧体育館の跡地駐車場を考えてありましたので、駐車場台数が45台ぐらいかなと思いますが、その程度の考え方なのですか。

【山崎まちづくり推進室長】

体育館を解体したあと文教ゾーンの駐車場として整備します。想定では30数台を考えております。

【平野委員】

ここにPTAの大道さんがいらっしゃいますが、現在福岡市営のグラウンドが学校行事等で利用されていると思いますが、実情をお聞かせいただきたい。

【大道委員】

学校行事があると車で来られる方が多いので、Uホールの駐車場を利用させていただいています。福岡グラウンドについては、小学校の体育の授業に利用しているので、あえて車を入れることはしていません。小学校のグラウンドができたのちに駐車場として使いたいと思っています。授業参観や学習発表会にお年寄りの方がたくさん来場されますので、Uホールから小学校まで歩くというのにはつらいと思います。

【議長】

今議論が駐車場の整備になりましたが、福岡グラウンドが整備されたら、車が入れない状況になると思います。それは以前から議論していました。このことを考えて発言してもらわないと駐車場問題を蒸し返すことになると思います。近隣に駐車場があれば一番いいことだけど、なかなかそういうわけにもいきません。それはお互いに覚悟しなければならないのではないのでしょうか。

【平野委員】

ただいろいろな事業を進めていくうえで、私の考えでは、地域の発展には、この文教ゾーンの駐車場が大いに寄与してきたと思っています。それをなくしたら、後悔することになると思うので、先ほど言われた45台程度でいいという考え方は疑問です。グラウンドに車が乗り入れできないというのなら、もう一度駐車場について考え直す議論が必要であると思います。

【徳田委員】

今週の冒頭に高橋市長宛、教育長宛にPTAから駐車場について再度考え直してもらいたいと要望書を提出させていただきました。これから実施設計するのであれば、車の乗り入れをできるような整備をやっていただきたいという要望書を今週の月曜日に提出させていただきました。

【窪田所長】

ただいま話題になっている案件は福岡小学校グラウンドではなく、福岡グラウンドのことだと思いますが、現在の福岡グラウンドの改修整備についての基本的な考え方ですが、このグラウンドについては、昭和52年に整備されたこともありまして、防旧ネットや照明器具など施設の老朽化が著しいということで、改修が必要になってきていると思っております。整備にあたっては、基本的には、学童や高齢者を対象とした軟式野球やソフトボールができるグラウンドとして整備することを考えております。ここは、平成25年度に基本設計、実施設計の作成に取り組む予定でございます。策定に当たっては、近隣の住民やグラウンドの利用団体との協議を行い策定を進めていきたいと思っております。

【大道委員】

野球やソフトボールに特化したものではなく、駐車場にもできる施設を考えたほうがいいのではないかと思います。

【木村委員】

私たち商業協同組合でも、つくりもんまつりの時の駐車場が非常に不足していると思っております。工事に入ってから2年経過し来場者が外の駐車場の方へ行っている。ということも含めまして、今までつくりもんまつりに来ていただいているファンの来場者から苦情をいただいております。福岡は高岡校区の中では、唯一遠隔地から児童が学校に通うため、スクールバスを出していただいて学校に通ってもらっている小学校でありますので、行事、授業参加であるとか、運動会であるとか、卒業式、入学式などPTAが集まる行事が多いですが、小学校に聞きますと664名の在校生のうちの46パーセントがスクールバスを利用しているということですから、約300人余りの父兄が行事の都度車で集まることになります。Uホールも限界がありますし、もう少し教育現場の最前線に触れて、配慮していただきたいと思っております。できれば集まりやすい駐車場、野球やサッカーや特化されたものも大切ですが、住民が使いやすい効率の良いグラウンド

が一番福岡にはとっても大事ではないか。と思います。ぜひもう一度考え直していただけないかと思います。

【徳田福岡総合行政センター所長】

文教ゾーン全体がどうなるのかということ、最重要視しております。現況をご説明させていただきますと、現状の駐車スペースは、福岡幼児学園の横に24台、福岡小学校前の公共トイレのところに23台ほか、福岡体育館のまわりにあるわけですが、この他に新たに、福岡小学校体育館完成後にもプール横、黒石川側スペースに約70台を確保する予定にしております。特に小学校につきましては、雪も降りますので、消雪も入れながら利便性を高めたところがございます。Uホールにも300台の駐車場がございます。木村委員からのご指摘のづくりもんまつりについては、試行錯誤しております。昨年無料のシャトルバスの運行をはじめさせていただきました。小矢部川の河川敷から西町の交差点まで、約2000人の利用がありまして、便利だったということ聞いております。文教ゾーンでは、駐車スペース総合的にどのようなことがいいのか、研究する必要があると思います。小学校のスペース側には最大限駐車場を計画する予定です。また、トイレの配置につきましてもいろんな角度から検討していきたいと思いません。

【議長】

なかなか難しい問題だと思います。福岡グラウンドに車を入れれば、雨の降った日に輪立ちができ、これをどうするかという問題が発生するわけです。簡単にここで返事はできないと思います。暗渠排水の目が詰まってしまう、その効果がなくなってしまうそれらを考えてこの次の委員会まで返答できるようにお願いしたいと思いません。

【議長】

ほかにありませんか

【地崎委員】

さくら会館の利活用についてですが、児童館利用者が40名、放課後児童育成クラブで45名、これが児童館がなくなった場合、さくら会館を活用することになりますが、先ほどから、さくら会館の3階ホールの話が出てますが、曜日限定で寺子屋サロンの子供たちがそこを使用しております。そうすると百数十人が重なることになり。十分に関係団体と協議し、進めていると言われますが、こういうことを念頭において、各

団体さんと曜日も検討して、時間帯も検討して、十分協議をしてあげてください。お願いでございます。

【谷内経済振興課長】

委員が言われるとおり、三階のスペースにつきましては、児童85名の利用を予定しており、現在寺子屋サロンについては、火曜日と木曜日で20人程度実際に利用しています。担当者と関係者と実施設計に向けて協議を進めているところですが、寺子屋サロンについては、2階を活動の拠点にしたいと考えております。現在の児童館のスペースからすると、3階について、面積的にいえば、現在の児童館よりは、広くなります。寺子屋サロンと、児童館利用者は使用する階が別になる予定ですが、今後十分に協議をしていきたいと思っております。

【議長】

ほかにありませんか

【議長】

特にならなければ、次へ進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

【議長】

次に、「報告第65号 福岡駅前土地区画整理事業」について、説明をお願いいたします。

【福岡まちづくり推進室長】

それでは、「福岡駅前土地区画整理事業」につきまして、お手元の資料4に従いまして説明をいたします。お手元の資料4をご覧ください。

(福岡まちづくり推進室から説明)

【議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【平野委員】

Uホールの和室が、近隣の騒音対策ということで、現在応急処置されているようです。部屋の中は日中でも真っ暗であり、照明をつけても、本も読めない状況で利用していると聞いています。このようになっているのは、利用者のいろいろな方々からお話を聞いてのことでしょうか。早急に何とかしていただきたいと希望します。できましたら、このような状況になったいきさつをお話しいただきたいです。

【窪田教育行政センター所長】

Uホールの和室や研修室の件でございますが、サークル活動にご利用いただいておりますが、中には、音が出る練習もされておりまして、この音が外に漏れまして、市民の方々からいろいろなご意見をいただき、急ぎ、職員のほうで防音対策をいたしました。施設利用者の方には、今ほど暗いということですが、ご不便をかける結果になっております。今後は、防音対策の予算付けに努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

【議長】

ほかにありませんか

【議長】

特にないようでしたら、次へ進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

【議長】

次に、「報告第66号（仮称）福岡駅前地域交流センター整備事業」について、説明をお願いします。

【関教育委員会体育保健課長】

それでは、「報告第66号（仮称）福岡駅前地域交流センター整備事業」につきまして、お手元の資料5に従いまして説明をいたします。お手元の資料5をご覧ください。

（福岡まちづくり推進室から説明）

【議長】



それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【徳田委員】

資料では、広場となるところ、多目的広場とか、駅前広場とか駐車場など、すべてフラットで連続性を持っているということで、すばらしい、使いやすい計画になっています。バリアフリーに関連して、前々回の地域審議会でもお話ししましたが、こういう施設が、バリアフリーということで、駅のすぐ横につくられるということですが、駅を利用する方々へのバリアフリーの配慮も必要ではなからうかと思えます。実際すでに駅の構内にエレベーターの設置がありますが、足の不自由な方の利便性を図るということを前々回にもお話しさせていただきましたが、福岡駅にエレベーターが設置できれば、今まで、福岡駅になかなか来られなかった人にも、つくりもんまつりに是非電車でいらしてくださいと言えますし、さくらまつりにも呼べますし、駅だけでも便宜を図ることで、人をたくさん呼ぶことができます。町の中心部に駐車場がないとどうしても足が遠のくようになるので、駐車場があればよいということと同様に高岡駅にもエレベーターがあるように、福岡駅もバリアフリーにすることで前向きに考えていただけないかなと思います。前々回はJRとの話し合いと聞きましたが、その後新幹線の関係で第三セクターに経営が移行するということが決まったようなので、ある程度利益の入っている民の部分から利益だけでなく官だからできる利益度外視のサービスという部分でこれからの高岡市として考えてもらいたいです。その際運賃も25パーセントの値上げが報道されておりますが、JRが退いたのちに利便性を上げるということでは、運賃を安くすることだけでなく、運行本数を増やすということも利便性を上げることにつながると思います。儲けがなくなるので運行本数を少なくすると、どんどん衰退してしまうでしょう。そこで、エレベーター設置について、運行本数についてお聞かせいただきたいです。

【徳田福岡総合行政センター所長】

JR福岡駅の乗降客については、一日当たり約2200人となっております。JR福岡駅は本市の交通ネットワークに欠かせない役割を担っていると認識しています。北陸本線は新幹線開業時にJRから並行在来線会社に移管されますことから、バリアフリー化などの駅施設の改善につきましては、今後、利用者の利便性向上の観点から、また、利用実態などを踏まえながら並行在来線会社とも協議してまいりたいと担当部局から聞いています。

2点目のJRの在来線の運行本数の向上については、現在鉄道経営につきまして、富山県、県内市町村、経済団体が参画して、富山県並行在来線対策協議会において、議論がなされております。これにつきましては、いろいろな角度から協議検討がなされると担当部局から聞いております。

【徳田委員】

良い方向へ向かうようお願いいたします。

【木村委員】

今は、（仮称）福岡駅前地域交流センターということですが、これはいつごろからどのような方向で正式名が決まるのか。また、Uホールのような愛称が決まる予定があるのか。

【山崎まちづくり推進室長】

（仮称）とありますように名前は決まっておりません。当然オープンの時期がはっきりした段階で、愛称のようなものは皆さんとご相談していくことになると思います。

【木村委員】

よく駅前に、初めて駅に下車される方、初めての友人が来たりすると、この町はどのようなまちであるか、町並み掲示板という案内板が良くあると思いますが、そんなものの設置について何か考えはありますか。

【山崎まちづくり推進室長】

交流センターの一階には、観光物産展示コーナーの予定がありますが、ここは平成18年まで観光物産館にありました福岡町の観光物産展示機能を全部ではありませんが、復活をしたいと思っております。観光物産展示コーナーでは、福岡地域の人がお客さんを連れて福岡を案内できるものにしたいと思っております。ただいま委員が言われましたマップのようなものも、大型パネルとして必要ではないかと考えております。製作する際は、観光関係者の方、それから街まちづくり関係者の方の協力を得ながら意見を聞きながら作っていきたいと思います。

【議長】

確認したいんですが、交流センターが今建設できないということですが、横に計画されているJAも建設できないのでしょうか。

【山崎まちづくり推進室長】

現在の計画では、交流センターの横にJAさんの換地がありまして、JAさんにつきましては、交流センターの敷地とは別になっておりますので、交流センターそのものとは関係なく新築できるスペースを確保してあります。しかしながら、駅があり交流センターがあり、そしてJAさんがあり、タビスさんあるということで、4つがあると

ということで、中心市街地の拠点性の向上ということで大きな目標の一つでありますので、交流センターとJAいなばさんと一緒に建てていくという方向で考えております。

【議長】

ほかにありませんか

【議長】

特にないようでしたら、次へ進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

### (3) その他

【議長】

それでは、その他の事項に入ります。

本日は1件ございます。「福岡地区の豪雨災害に関する対応」について、説明をお願いいたします。

【地域振興課長】

それでは、「福岡地区の豪雨災害に関する対応」につきまして、お手元の資料6に従いまして説明をいたします。お手元の資料6をご覧ください。

(地域振興課から説明)

【議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【源委員】

谷内川改修工事について2億円の予算をつけていただきましてありがとうございます。ただ一点ですが、市道向田赤丸線の終点から石堤方面へ行く道路がありますが、石堤側の谷内川左岸で広がって堤防ができるということは、その間に谷内川の水のあふれ

があったら、その区間は道路が冠水することになります。橋の掛けようはないのですが、道に不案内の人がそこを通ると田と堤防の高さが大きいので、どれだけの深さの水かさかわからないことになり、とても危険だと思います。それで、局地豪雨があれば赤丸地域でもパトロールすることになるとと思いますが、道路管理でも特にパトロール強化を含め対応を考えていただきたいとおもいます。

【高越道路維持課長】

谷内川の改修に伴います、現況道路の横断や周辺部の影響については、富山県で2億の予算を付けていただき事業を進めていただくことになっておられます。これに伴う周辺の道路も橋であったり低いところであったりそういったところの対策も考えながら、工事が始まれば、架設という形のことも考えています。災害時の気象状況の変化があれば柔軟に敏速に対応していきたいと思っております。

【議長】

ほかにありませんか。

ないようでしたら、次へ進めたいと思います。

それでは、委員の皆さんでその他ということで何かありませんか。

【地崎委員】

2月8日付の新聞に大滝工業団地の記事が載っていました。ここ数年心配してきた経緯もあります。この団地の工場進出について具体的に教えてください。

【水上産業企画課長】

先ほど、新聞報道ということでしたが、新聞社の取材において報道されたということですが、お配りした図面の区間線にありますとおり、A区画約1haそしてC区画0.15haの両方は静岡に本社があります森精工（株）さんと、間もなく仮契約を結ぶことになりました。金額は、1億7千9百万余りで予定しております。進捗状況としては、3月議会がありますが、その議案として上程する予定にしており、近日中に森精機（株）と仮契約を予定しております。静岡へ職員が向かう予定であります。3月議会で土地の譲渡と売買を議決いただければ、本契約し、4月以降に入金いただいてから所有権移転の手続きを行う予定にしております。

【平野委員】

合併特例債の事業別の利用状況についてと今後の利用計画についてお話をお願いいたします。

【岡田経営企画部長】

合併特例債のこれまでの利用状況と今後の方針ということですが、旧福岡分として全体で90億4千9百万円ということですが、それに対しまして、平成24年度につきましては、総額6億8千万円の予定であり、主な事業としましては、幹線道路整備に9千万円、福岡駅前土地区画整理事業に2億8千万円、駅前駐車場整備に820万円、五位山分団の消防ポンプ自動車購入に対して870万円、福岡総合文化センターの楽屋増築事業に対し1700万円、高岡西部総合公園整備事業に20億4千万円を予定しております。そして、この部分を含めましたら、平成24年度末では、進捗状況活用割合が60.5パーセントとなります。今後残った合併特例債の活用予定といたしましては、幹線市道整備事業のほか駅前土地区画整理事業あるいは、福岡中央地区まちづくり事業等を見込んでおります。

【議長】

来年度一覧表で出していただきたいと思います。

【中山委員】

現在「人・農地プラン」制度が動いていますが、どうも他の市町村に比べて、高岡の動きが遅いのかなと感じている。集積協力金とかの関係もございまして、今後どのような日程スケジュールで進めていかれるのかお聞きします。

【広羽農業水産課長】

「人・農地プラン」は、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などといった「人と農地の問題」を解決するために地域の方々と話し合ってこれを作成するものです。高岡市の場合は旧高岡と旧福岡と両地区ありますが、それぞれのJA単位で29地区でそれぞれ作成する予定にしています。

これまでの、高岡市における「人・農地プラン」の作成に向けての取り組み状況について申し上げますと先ず、昨年5月末から6月にかけて、全農業者を対象に、「アンケート調査」を実施しました。その結果を受けまして、7月から11月の間に、調査結果をとりまとめ、12月には、その調査結果を基に、プランの素案を作成したところです。

素案の作成を受け、12月から今年の1月にかけて、アンケート調査の結果とプランの素案を各地区に提示するとともに、内容等について、「生産組合長会議」の場等を通

じて、話し合っていたいただいたところです。

市では、この話し合いを受けて、「人・農地プラン」の原案を地域ごとに作成することとしておりますが、ここでお断りですが、「人・農地プラン」は、必ずしも最初からパーフェクトなものにしなければならないというものではなく、今ほど委員さんも言われましたが、補助制度を採用するために、必要な部分から着手しまして、順次、拡大していくことが求められていますので、

今回作成する「人・農地プラン」の原案は、あくまで、地域の中心となる経営体、中山委員もそうですが、各地域の「担い手」として位置付けられる方々を特定し、その方々に農地を集積し、効率的な農業経営を行うことを決めていただくことに主眼を置いた、いわば、プランの「枠組み」、「フレーム」を作成しようというものでございます。

従って、本来、プランに掲載すべき「農地の集積方法（受け手と出し手の特定）」や「地域農業のあり方」等については、今後、担い手の方々を中心に、時間をかけながら、地域で十分話し合いを行い、方針を決めてまいりたいと考えているところでございます。

このような方針の基、「人・農地プラン」の原案が作成された場合、農業委員をはじめ、JA、市農業者協議会、土地改良区などの関係者で構成する「人・農地プラン検討会」を開催し、プランを審査・検討し、「適切」・「適当」と判断されたものを市で「人・農地プラン」として正式に決定（認定）する運びとなっております。

そこでお尋ねの本市の現状ですが、1月までに、市内全29地区のうち、高岡区域は16地区、福岡区域は4地区の合計20地区において、「人・農地プラン」の原案が作成されたことから、1月30日に、第1回の「検討会」を開催し、プランの審査・検討を行っていただき、結果、全てのプランについて「適当」と判断をいただいたところです。

したがって、この20地区の「人・農地プラン」については、市として、正式に認定する予定にしておりますとともに、残りの9地区についても、早急に原案を作成し、検討会を開催し、審査・検討を行い、できるだけ早い時期に、全地区29地区でのプランの認定を終えたいと考えております。

なお、先程も申しましたように、今回のプランの作成に当たっては、地域の中心となる経営体、地域の担い手となる方々を地域で決めていただくことに主眼を置いたものでありますので、来年度以降は、今回作成するプランを基に、地域の担い手の方々を中心に、地域に居住する方々にも参加していただき、地域農業の「将来展望等」について、話し合いを行っていただき、プランの内容の充実に努めていきたいと思っております。

高岡市における「人・農地プラン」の策定に向けての考え方、並びに現状については、以上でございます。

以上概要並びに現況ということで、説明させていただきました。

【徳田委員】

消防に関しまして、五位山地区に消防ポンプ車が配備されたということですが、消防署の移転など大きな事業については、終わっているようですが、細かいことで、費用が

かかることかもしれませんが、消火栓の蓋が道路の中にありますが、消火栓を示す標識があるところとないところがあります。最近整備した消火栓については、標識が付いているようですが、古い消火栓については、標識がないので、冬に雪が積もってマンホールが分からなくなると地元消防団が積雪前に消火栓の横に消火栓と書いた小さい旗を立てていますが、このこと自体は消防分団員にとっても消火栓の場所を再認識できるので良いことであると思っておりますが、中には、住宅街でまわりに何も無い、旗のさせない状態の所が数か所あります。そういったところに消火栓の案内標識の設置はできないものでしょうか。もう一つは、Uホールの後ろの駐車場と体育館との間に細い道がありまして、細い道から国道へ出るまでは橋がかかっています。国道からその橋を渡るとすぐにUホール体育館の横のL字に曲がった市道にぶつかるわけですが、橋のところから一時停止しないで市道にでて来る車が非常に多くあり危険であると思えます。橋のところには点線で道路表示がありますが、そんな状態であるということは、わかりにくいということだと思えますので、何とかしてほしいと思えます。

【野積地域振興課長】

消火栓の位置を示す旗が除雪時にわからなくなるというご質問だと思えますが、現在、福岡消防署管内には、378基の消火栓があります。その内住宅が密集している地域等の消火栓で、主要な箇所の消火栓185基には、標識ポールが設置されています。

標識ポールのない消火栓については、消火栓の位置を示す旗を掲出することで対応していますが、今後、除雪の障害になる場所での掲出は避けまして、電柱、電灯、塀等の活用も含めて対応を検討していきたいというふうに担当から聞いております。

【高越土木維持課長】

ご指摘の現場を再度確認し対応していきたいと思えます。

【朝委員】

Uホールができて十数年たっていて、建物が少し痛んでいるのではないかと思います。少しずつ手を加えて、きれいなUホールを維持していただきたいです。

【窪田教育行政センター所長】

平成9年の7月にUホールがオープンいたしました。それから15年経過しています。ご指摘のとおり、施設の中には、補修が必要なところがあります。一度にはできませんが、少しずつ改修していきたいと思っております。

【参納委員】

大滝工業団地の件ですが、地元としては、大変喜んでおります。第二第三の企業誘致を引き続き努力をお願いしたいと思います。造成した残りの土地も少なくなるということで、当初計画しておりました、拡張の造成も念頭に入れてお願いしたいと思います。

【水上産業企画課長】

残りは0.75haとなりましたが、これにつきましても、できるだけ早く買っていただくために、今後全力で取り組んでいきたいと思っております。なお、当初の計画にあった拡張につきましても、十分理解しております。今は、この残った土地を、一生懸命させていただきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。

【議長】

これで終わりますが、事務局から報告があります。

【谷内経済振興課長】

その他と致しまして、ご報告いたします。

「とやま・ふくおか家族旅行村の一般財団法人化」についての進捗状況を報告させていただきます。

昨年5月、第20回 福岡地域審議会において、「とやま・ふくおか家族旅行村」の公益法人制度改革に伴う今後の方向性として「一般財団法人」へ移行し、存続することが望ましいとの意見があることを報告させていただきました。

その後、庁内及び関係者間で今後のあり方について協議を行い、富山県に「一般財団法人化」に向け移行申請書を提出し手続きを進めているところであります。

県から移行申請の認可を受けた後、一般財団法人として今春よりスタートしてまいりますので、今後とも皆様のご理解ご協力をお願い致します。

【窪田教育区行政センター所長】

西明寺パークゴルフ場ですが、平成20年の11月に地元の振興策として整備されまして、24年実績で年間1万3千人余りの利用がございまして、この施設を平成25年4月1日から西明寺自治会を管理者として、5年間指定管管理をお願いする予定になっております。

【野積地域振興課長】

それでは、私からは今年に入り福岡地域で受賞された団体並びに受賞が予定されている団体、個人をお知らせします。

1つは、2月14日(木)、東京のプレスセンターホールで、地方新聞46紙と共同通信社が合同で主催する「第3回地域再生大賞」において、福岡町のつくりもん実行委員会が「優秀賞」を受賞しました。



授賞式には、福岡つくりもんまつり実行委員長の上田久之氏、実行本部長の大野昭夫氏が出席されました。

もう一つは、一般財団法人伝統的工芸品産業振興会主催による「平成 24 年度伝統工芸品産業大賞」において、越中福岡の菅づくりの笠骨職人「木村昭二氏」が、手作り部門で「功労賞」を受賞されることがわかりましたのでご報告させていただきます。

#### 【事務局】

次回の第 23 回福岡地域審議会は、6 月頃の開催を予定しておりますが、具体的な日程が決まり次第、委員の皆さんにご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

## 5 閉会

#### 【事務局】

以上をもちまして、第 22 回福岡地域審議会を閉会します。

本日は、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。お疲れ様でございました。